

## 2 都道府県からの相談・報告事例のまとめ

### (1) 調査目的

中国産冷凍ギョウザによる健康被害が公表された日(1月30日)以降に都道府県等にあった相談・報告については、平成20年3月31日時点で有機リン中毒が確定した患者10例のほか、有機リン中毒が否定された事例数5915件(内医療機関受診有り 1044件)が都道府県等に報告されている(参考資料1)。これら有機リン中毒が否定された事例のうち医療機関受診有りの相談・報告例について取りまとめるとともに、更なる調査が必要な事例が含まれていないか検討することを目的とした。

### (2) 調査方法

2月21日付けで、厚生労働省より、これまで厚生労働省に報告のあった「中国産冷凍ギョウザ等による健康被害を訴えている事例」のうち、有機リン中毒について「訴えはあるものの、臨床診断や検査結果等により否定された事例」等に関する都道府県等への相談・報告事例について、既存の相談受付記録(様式任意)について個人情報情報を消去した形で送付依頼、厚生労働省において集計した。

なお、有機リン中毒の確定には、神経症状などの有機リン中毒系農薬による中毒症状があること、血中のコリンエステラーゼ活性の低下が認められること、吐瀉物または食品等からメタミドホスの検出があることを要件としているが、検査非実施であっても、因果関係が明らかなものを含む10例については今回のまとめとは別に調査・分析を行っている。

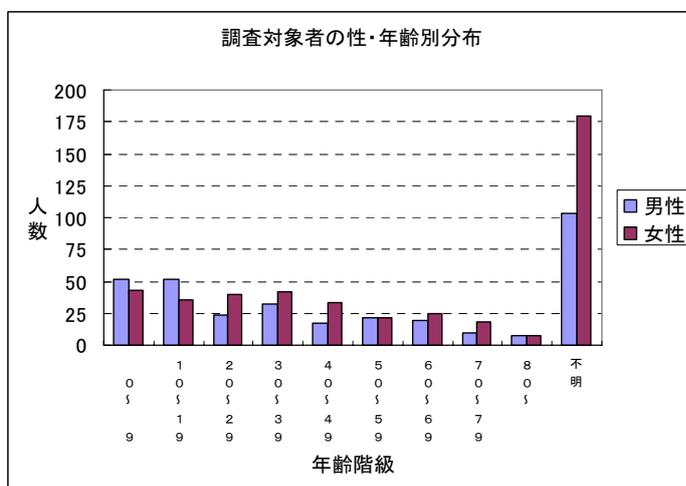
### (3) 調査結果の概要

#### ア 分析対象者の属性

今回の分析対象となったのは、自治体で有機リン中毒が否定された事例のうち、医療機関受診有として報告のあった1,044件から報告された実人数として得られた1,086人分の情報である。

性別内訳は、男性337名(43.0%、不明を除く)、女性446名(57.0%、前同)、性別不明303名、平均年齢は32.9歳(男性 30.6歳、女性 35.3歳)であった。

年齢階級	男性	女性	不明	合計
0～9	52	43	10	105
10～19	52	35	6	93
20～29	24	40	1	65
30～39	32	42	3	77
40～49	17	33	1	51
50～59	21	22	3	46
60～69	19	25	6	50
70～79	10	18	2	30
80～	7	8	0	15
不明	103	180	271	554
計	337	446	303	1086



なお、今回の調査では、相談者を特定できるような個人情報情報は消去して都道府県から国に情報を送付しているが、81.1%にあたる 881 件については、都道府県等では、相談者等に必要に応じて連絡を取ることが出来るような手段を確保しているとの報告があった。

都道府県→相談者間の連絡手段	実数	割合
有	881	81.1%
無	54	5.0%
不明	151	13.9%
	1,086	100.0%

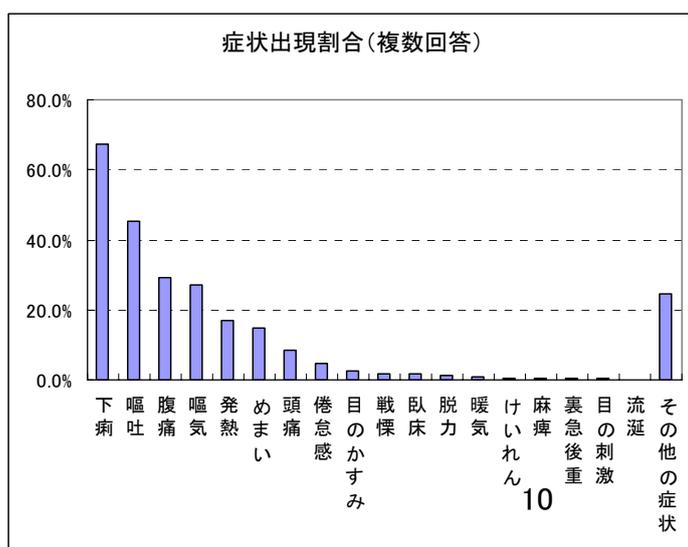
#### イ 原因食品について

今回の症状の原因食品としては、1,086 件中 1,017 件(93.6%)について記載があった。原因食品として報告が多かったものは、「CO・OP 手作り餃子」(246 件 22.7%)、「中華 de ごちそうひとくち餃子」(206 件 20.0%)、「手作り餃子」(97 件、8.9%)、「ひとくち餃子」(53 件 4.9%)、「手包みひとくち餃子」(51 件、4.7%) の順であった。(なお、原因食品名は、必ずしも商品名を特定できる形で報告されているわけではないため、たとえば「手作り餃子」の中には、「CO・OP 手作り餃子」が含まれている可能性がある。)

原因食品名	合計	割合
CO・OP 手作り餃子	245	22.6%
複数 (CO・OP 手作り餃子含む)	1	0.1%
中華 de ごちそうひとくち餃子	204	18.8%
複数 (中華 de ごちそうひとくち餃子含む)	2	0.2%
CO・OP 手包み餃子 または 中華 de ごちそうひとくち餃子	1	0.1%
手作り餃子	97	8.9%
ひとくち餃子	53	4.9%
手包みひとくち餃子	51	4.7%
お弁当大人気！豚肉のごぼう巻き	30	2.8%
お弁当大人気！2種のソースのロールキャベツ	27	2.5%
お弁当大人気！豚肉の3色野菜巻き	22	2.0%
CO・OP 本場中国肉餃子	21	1.9%
その他	245	22.6%
複数	18	1.7%
(空白)	69	6.4%
総計	1086	100.0%

#### ウ 出現した症状について

症状(複数回答可)として報告が多かったのは、下痢(729名 67.1%)、嘔吐(490名 45.1%)、腹痛(318名 29.3%)、嘔気(292名 26.9%)の順であった。



出現症状(複数回答)	有症者数	割合
下痢	729	67.1%
嘔吐	490	45.1%
腹痛	318	29.3%
嘔気	292	26.9%
発熱	186	17.1%
めまい	161	14.8%
頭痛	94	8.7%
倦怠感	51	4.7%
目のかすみ	26	2.4%
戦慄	19	1.7%
臥床	19	1.7%
脱力	16	1.5%
暖気	7	0.6%
けいれん	5	0.5%
麻痺	5	0.5%
裏急後重	3	0.3%
目の刺激	4	0.4%
流涎	0	0.0%
その他の症状	267	24.6%
全体	1,086	100.0%

## エ 診断の根拠

医療機関が有機リン中毒を否定した理由については、相談記録には42件に記載あった。これらの中には、「物質検出せず」(17件)、「コリンエステラーゼ活性によるもの」(17件)、「症状合致せず」(9件)、「縮腫なし」(3件)、「他疾患あり」(3件)、「食品摂取なし」(1件)となっていた。(複数回答)

## オ 診断名について

分析対象のうち、診断名について何らかの記載のあるもの(不明・異常なしを含む)は、全体の35.5%(386件)であった。

診断名で多かったものは、胃腸炎(92件)、風邪(78件)、感染性胃腸炎(28件)であった。

## 入院の有無別診断名について

診断名	入院有	入院無	不明	計
胃腸炎	8	28	56	92
風邪	1	24	54	79
感染性胃腸炎	2	7	19	28
異常なし		7	8	15
嘔吐下痢症		2	7	9
ノロウイルス	1	1	6	8
インフルエンザ		3	3	6
食あたり			5	5
有機リン中毒を否定	2	1	2	5
餃子喫食との関連を否定	1	1	2	4
食中毒を否定		1	2	3
蕁麻疹		3		3
逆流性食道炎		1	2	3
感染症		1	1	2
下痢症		2		2
食中毒疑い			2	2
めまい		2		2
その他診断名	5	12	23	40
急性有機リン中毒			1	1
風邪、有機リン中毒の可能性あり			1	1
農薬中毒疑い		2		2
中毒の疑い			1	1
過敏性下痢症候群の疑いがあるが、薬物中毒も否定はできない。			1	1
農薬の関与も否定できない			1	1
不明	1	22	30	53
その他(診断名以外の記載等)		7	11	18
記載なし	17	196	487	700
合計	38	323	725	1,086

なお、診断名の中には、「急性有機リン中毒」(1件)、「中毒の疑い」(1件)、「過敏性下痢症候群の疑いがあるが、薬物中毒も否定はできない」(1件)、「農薬中毒疑い」(2件)、「農薬の関与も否定できない」(1件)、「風邪、有機リン中毒の可能性あり」(1件)が含まれているが、これらについての詳細は以下の通りであり、症状、血液検査(含むコリンエステラーゼ活性)結果、摂取食品検査等により、行政上は、有機リン中毒が否定されている。

ID	都道府県	性別	年齢	診断名	下痢	嘔気	嘔吐	頭痛	倦怠感	腹痛	目の刺激	めまい	原因食品名	備考
10163	群馬県			急性有機リン中毒		○	○	○					味の素冷凍ギョウザ	コリンエステラーゼ活性 正常～高値
10215	東京都			(中毒の疑い)									JT ごぼう巻き(6個入り)	発疹、立ちくらみ、夜中にのどがつまる、舌のしびれといった症状あり。発疹、(立ちくらみ)は現在も継続中。ステロイド外用剤使用。 購入先:***** 購入日時:1/23
10253	長野県	男	62	過敏性下痢症候群の疑いがあるが、薬物中毒も否定はできない。	○								中華deごちそうひとくち餃子	長野県環境保全研究所で残品を検査したところ、メタミドホス及びジクロロホスは不検出であった。 当該食品賞味期限2008/12/20。
10367	福岡県	男	32	農薬中毒疑い	○		○			○		○	CO・OP 手作り餃子	血液検査の結果、薬物中毒を疑わせる値は出ていない。
10368	福岡県	女	33	農薬中毒疑い	○							○	CO・OP 手作り餃子	血液検査の結果、薬物中毒を疑わせる値は出ていない。
10877	葛飾区	女		農薬の関与も否定できない	○	○						○	中国産冷凍餃子	当該物質検出せず、有機リン中毒を否定
10719	大阪府			風邪、有機リン中毒の可能性あり		○	○			○		○	中華deごちそうひとくち餃子	吐き気、めまいは1週間ぐらい続いた。吐き気は現在も続いている。心電図 異常なし、血液検査 血漿コリンエステラーゼ活性正常(539)、投薬無し。尿検査実施。吐き気止め(プリンペラン)を処方。診察時、縮瞳等の症状なし。既往歴:メニエール病。残品検査:メタミドホス検出されず。

## カ 入院事例

入院事例は 38 例であった。このうち、28 件については診断名があり、(急性・感染性)胃腸炎(11件)、出血性胃炎(1件)、急性腸炎(1件)、急性肝炎(1件)、結腸の炎症(1件)、風邪(1件)、ネフローゼ疑い(1件)、ノロウイルス(1件)、慢性胃炎か過敏性腸症候群(1件)、十二指腸潰瘍(1件)、めまい症(1件)、メニエール症候群(1件)、中毒の可能性低い～考えにくい(2件)、臨床症状から餃子との因果関係を否定(1件)、てんかんの発作(1件)、敗血症ショック(1件)、不明(1件)となっていた。不明1件及び診断名について明らかではない10件の症例の詳細は以下の通りである。

### (ア) 診断名不明

ID	都道府県	性別	年齢	原因食品名	下痢	嘔気	嘔吐	頭痛	倦怠感	腹痛	目の刺激	めまい	診断名	備考
10117	茨城県	男		JTフーズ 手作り餃子									不明	本人と子供(7歳)が焼いて食べたが、本人のみ突然、意識不明になった。病院は、翌日に退院した。 当該食品の製造年月日は不明で、2007/11/09に*****で購入。

(イ) 診断名が明らかでないもの

ID	都道府県	性別	年齢	原因食品名	下痢	嘔気	嘔吐	倦怠感	腹痛	めまい	入院期間	備考
10084	山形県		41	手包みひとくち餃子と他社の冷凍餃子						○		家族内発症者症状にばらつき。 餃子をたくさん食べた息子の症状が嘔吐のみ。 めまいの症状を呈する本人は、虫垂炎手術後1月4日から軽度めまい。 訴えている3人は餃子を食べた翌日に、症状を示している。 以上のことから、JT餃子事件との関連性は薄いと考えられた。 本人は、平成19年12月30日に虫垂炎の手術を受け、平成20年1月4日よりめまい感を感じていたが、1月17日に感じためまいは従前のものより激しかったとのこと。 購入店:****か*****
10096	福島県	女	27	CO・OP 手作り餃子	○					○	2	賞味期限 2008. 5. 10 メタミドホス、ジクロロボス不検出
10097	福島県	男	77	JTフーズ 中華deごちそうひとくち餃子	○							医師の診断から餃子が原因ではないと判断された 購入店:*****
10161	群馬県	女		CO・OP 手作り餃子	○		○			○	2	****で購入
10216	東京都	女		ミニロールキャベツ 都デリカ ロールキャベツ ニチロ えだまめ	○						10	1月13日に家族3人で喫食したところ、喫食直後に本人のみ左顔面が麻痺し、下痢となった。他二人は無症状。喫食したものは自主回収対象食品ではなかったので返品できなかった。 2月3日に救急車を呼び、***の****病院に搬入され、10日間入院。現在は別の病院で角膜損傷の治療と左顔面麻痺のリハビリをしているらしい。
10326	鳥取県	女	81	ハイキクトレーディング小籠包	○						4	その他症状は手足の震え、救急車 アトロピン注射でおさまる 可 検物は同日に購入した同製品 メタミドホス、ジクロロボス不検出
10409	大分県			CO・OP 手作り餃子	○							8月購入。喫食した子供と孫が嘔吐・下痢症状を呈したが、いつ喫食し、いつから有症なのかは不明。
10838	大田区			あけぼの冷凍食品 あおり炒めの焼肉	○	○	○			○		賞味期限 08. 12. 20 購入先 ***** 購入日 1. 20 10-11時
10869	練馬区	女		JTフーズひとくち餃子								購入先 ***** 購入日 1.25
11112	福岡県	女	35	COOP手作り餃子	○		○		○		7	

これら事例については、調査票の再確認、さらには必要に応じて都道府県を通じて再確認を行ったが明らかな有機リン中毒を疑わせる所見を得ることは出来なかった。

(4) 結論

都道府県の既存の相談受付記録に基づき、有機リン中毒を否定されている事例のうち、医療機関受診ありの1,086件について必要に応じて都道府県への照会を行いながら、再確認を行った。

これまでの確認が出来た範囲においては、有機リン中毒を否定するに至る判断、各都道府県等の実施した措置については現時点ではおおむね妥当なものであったことが確認された。

有機リン中毒については、臨床的には、一度症状が消失したら、その後に有機リン中毒と同じ症状が出現したとしても別の原因によるものと考えられるとされているが、本事案に関係して、都道府県等に相談・報告を実施した住民、医療機関等は、万一必要が生じた場合には、引き続き都道府県等に報告を行うことにより、今後のフォローアップにつなげることとすべきである。また、国は引き続き、必要に応じた国民への情報提供や、都道府県等への技術的支援を継続することが重要である。

### 3 中国産冷凍食品による食中毒事案に関する回収食品の検査状況の概要

#### (1) 調査目的

回収された食品の検査状況に関する詳細な分析を実施し、今後の類似事案の発生予防や、発生した際の早期対応に資する。

#### (2) 調査方法

3月4日付け通知「食品による薬物中毒事案の実態把握に関する調査について」に基づいた都道府県等からの報告を集計するとともに、ジェーティーフーズ(株)及び日本生協連から検査状況を聴取し、調査を実施した。

#### (3) 調査概要

##### 1) コープ東北カンネット、みやぎ生協、コープあいつ薬品異臭苦情事案関連

対象検体	ロット	自治体	事業者	農薬検出数
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.6.3	28	34	3 農薬、3 検体 ジクロロホス(1) (全量 0.01ロット ppm, 皮 110ppm,具 0.42ppm) パラチオン(1) 0.01ppm メタミドホス(1) 0.01ppm

##### 2) 千葉県千葉市、千葉縣市川市、兵庫県高砂市事案関連

対象検体	ロット	自治体	事業者	農薬検出数 注) () 内は検出検体数
中華 de ごちそう一口餃子	賞味期限 2009.1.1	15	1,231	0
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.10.20	109	268	0
中華 de ごちそう一口餃子	賞味期限 2009.1.1 以外	795	1,077	4 農薬、13 検体 メタミドホス (20051221(1) 0.01ppm) クロルピリホス (2008.10.7(2),2008.10.9(1),2008.11.5(1) 0.01-0.02ppm) ピリメタニル (2007.4.12(1),2009.3.3(1) 0.01-0.02ppm) プロシメトン (2009.2.23(3),2009.2.24(1),2009.3.16(1)、 不明(1) 0.02-0.04ppm)
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.10.20, 2008.6.3 以外	376	760	3 農薬、34 検体 メタミドホス (2008.9.8(32) 0.01~0.08ppm) ジクロロホス (2008.7.22(1) 0.01ppm) プロシメトン (2008.4.6(1) 0.02ppm)
上記以外のすべての の製品		459	765	1 農薬、3 検体 メタミドホス 餃子フライ(3) (0.01, 0.04, 0.10ppm)
1) 及び2) の合計		1,782	4,135	5 農薬、49 検体

### 3) 中華 de ごちそう一口餃子及び COOP 手作り餃子の回収状況・検査状況

(JT 及び生活協同組合からの聴取) 6月30日現在(輸入袋数:平成19年1月1日~平成20年1月30日)

対象検体	ロット	輸入袋数	回収袋数	検査袋数	農薬検出数
中華 de ごちそう一口餃子	賞味期限 2009.1.1	11,424	1,428	2****	0***
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.10.20	6,816	1,310	268	0**
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.6.3	8,826	119	33	0
中華 de ごちそう一口餃子	賞味期限 2009.1.1 以外	3,318,264	187,398	1,077	0
COOP 手作り餃子	賞味期限 2008.10.20, 2008.6.3 以外	611,772	32,908	571	0

#### 県警の発表

##### ※COOP 手作り餃子 2008/10/20

①平成20年3月13日 千葉県警公表(市川市事案:被害者が吐き出した餃子)

マトリクス: COOP 手作り餃子 2008/10/20 皮 1g 中 約 3.58mg、具 1g 中 約 3.16mg

②平成20年3月31日 千葉県警公表(千葉市事案:被害者宅に残された未調理餃子等)

マトリクス: COOP 手作り餃子 2008/10/20 皮 1g 中 約 17.68mg、具 1g 中 約 19.29mg

③平成20年5月15日 千葉県警察公表(市川市、千葉市事案の餃子等)

マトリクス: COOP 手作り餃子 2008/10/20 皮 1g 中 約 31.13mg-0.04mg、具 1g 中 約 16.62mg-0.03mg

##### ※※中華 de ごちそうひとくち餃子 2009/1/1

④平成20年5月29日 兵庫県警察公表(高砂事案:被害者が食べた餃子のトレーに付着していた餃子の具片)マトリクス: 中華 de ごちそうひとくち餃子 2009/1/1 具 1g 中 約 13.2mg

※※※1,428 袋中、1,229 袋については、警察の依頼を受け回収した袋のみ検査を実施